

中学生が市を良くするための意見を発表

～令和7年度 市長と語ろう！中学生ふれあい懇談会～

地域イベントの企画・運営に 中学生が携わる「八幡中学校」

今年度、子どもおどりのタベの企画運営に携わり、中学生が参加することで地域の賑わい創出や担い手不足の解消、伝統の継承につながるのではないかと感じました。他の中学校でも、地域イベントの企画運営に積極的に参加してはどうでしょうか。



高坂凛さん、高原優心さん

【市長】

子どもおどりのタベに新しいアイデアを取り入れて関わってくださったことで地域の賑わいにつながり、ありがたく思います。地域のイベントに関わることは地域への関心を高め、自らの地域を自分事として捉えて伸ばしていく住民自治の進展につながると考え、今後にも期待します。

郡上八幡の観光地を多言語QRコードで紹介しよう「八幡西中学校」

郡上八幡は歴史的価値の高い

史跡がある魅力的な街で、外国からの観光客も多く訪れていますが、そこで、郡上の歴史や魅力を紹介する多言語のデータを作成し、QRコードで紹介してはどうでしょうか。



武藤達さん、武藤千明さん

【市長】

外国人観光客に市の歴史や文化、地理をわかりやすく伝えることは、重要な観光政策のひとつと考えています。ぜひみなさんには、どこに設置すると外国人観光客の方に喜んでいただけて効果的かを考えていただきたいと思います。

咲かせよう、ひまわりを育てよう、思いやりの心「大和中学校」

大和中学校には、思いやりをもつて行動するための「ひまわり宣言」があり、この宣言を大切にするため学校の畑でひまわりを育てる「ひまわり満開プロジェクト」を行っています。さらに地域へも広げるために、これまで道の

駅などで行ってきた種の配布を、学校や介護施設、観光施設などへも広めたいと思います。



土松小登香さん、興膳みのりさん

【市長】

ひまわり宣言を通じて、郡上市全域へ思いやりの心の種をまいていただきありがとうございます。今後は、「郡上は一つ」の考えのもと、郡上東中学校の「芝桜プロジェクト」と一緒に取り組むなど、花を通じた温かい心が広がると嬉しく思います。

【教育長】

種と一緒にひまわりの心を各学校へ広め、根付かせる活動を考えてみてほしいと思います。また、配布する施設がどんなところなのかも見て知っていただきたいと思っています。各学校への配布は教育委員会もお手伝いさせていただきます。

学校と地域・行政が一体となった持続可能な地域づくり「完全熟たい肥プロジェクトを通して」

【白鳥中学校】

総合的な学習の時間に、市の環境問題について学習しました。生ごみをたい肥化することで焼却処分されるごみを減らし二酸化炭素排出の削減につながることを知り、生ごみの回収や完熟たい肥作りを行っています。また、私たちが作りたいたい肥を地域のイベント等で販売、PRも行いました。活動をさらに広げるため、販売、PRの場を提供いただき、地域企業との連携も行いたいと思います。



三島淳成さん、可児陽斗さん

【市長】

ごみの減量化は、地球環境、長良川上流の環境保全の観点から大変重要で、どうやって削減するのかが大きな課題です。発表いただいたような取組みを、市でも行っていかなければなりません。

【環境水道部長】

可燃ごみの約40%を生ごみが占めており、これを減らすこと

ができれば相当量のごみが削減できるため、市では各家庭でたい肥を作るためのコンポストの普及に取り組んでいます。白鳥中学校の取組みが、地域おこしなど他の分野にも広がり、その結果ごみの削減にもつながるとより良いと思います。

高鷲は夏もすごいんだー！高鷲の自然五感ツアー！〔高鷲中学校〕

ふるさとデーや地域の方の講話を通じて、高鷲町や郡上市を魅力的な街にするため、高鷲に夏に訪れる観光客を増やし高鷲・郡上を盛り上げたいと考えました。高鷲の自然に触れ、五感を刺激して楽しめる3泊4日のツアーを提案します。



鈴木夢之丞さん、下條絆吏さん

〔市 長〕

高鷲の魅力が存分に取り入れられた素晴らしいツアーだと思います。さらに、例えば白山信仰ゆかりの美濃禅定道など、「歩く」ことを加えられるとインバ

ウンドの方にも楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

〔副市長〕

「五感」というキーワードは、高鷲地域のリゾート地としてのポテンシャルを捉えた素晴らしい視点だと思います。ご提案の体験は都会の人たちにとって「五感回復体験ツアー」となり得ると思います。また、高鷲の魅力の再発見にもつながるのではないのでしょうか。

使われなくなった校舎を活用して、より活発な地元にしよう！

〔郡南中学校〕

より活発な地域を目指し、学校統合により使われなくなる吉田小学校を観光客向けの体験型宿泊施設に、三城小学校をお年寄り子どもと関わる場として活用することを提案します。



河合由奈さん、村瀬凜さん

〔市 長〕

前向きな提案をありがとうございます。今後も、統廃合等に

より使われなくなる学校が出てきますが、将来に向かい有益なものとなるよう有効利用について考えていかなければなりません。課題はありますが、解決につながるよう地域の方にも前向きに考えていただければと思います。

〔教育次長〕

学校という大規模な施設を維持していくには多額の費用が発生することを踏まえ、通年でフルに活用できるような視点が必要だと考えます。今後も様々なご提案を受けながら、活用の検討を進めたいと思います。

学生も含めて、郡上市内で統一して取り組めるものをつくってはどうか

〔明宝中学校〕



佐藤来鳳さん、和田曹さん

郡上市がより活気ある地域となるよう、市内の子どもから大人、高齢者までが、地域を越えて一緒に取り組める活動を作っているかどうかと考えました。一つ目

に、ペットボトルキャップの回収ボランティア、二つ目に、各地域の方々が参加できる郡上市運動会を提案します。

〔市 長〕

郡上市全体で取り組むことは、郡上が一つになるために非常に大事なことでと思います。郡上が一つになること、一人ひとりが地域づくりを自分事として考えることが、今後の郡上市を創ることになると思います。

〔教育長〕

生徒のみなさんの発案により、生徒のみなさんが中心となって進めることが定着につながることだと思っています。運動会に関連して、現在行われている「郡上元気スポーツフェスタ」には、高校生がボランティアとして運営に参画しています。みなさんにも参加いただくことで、どんな輪が広がっていくのではないのでしょうか。

「郡上の特産品」を生かした「郡上の名物づくり」〔郡上東中学校〕

郡上の魅力を発信するため、郡上の名産品を作りたいと思います。一つ目に、はざこさんど・はざこまんじゅうといった「食」、二つ目に食品サンプルなどのカプセルトイ「ぐじょぼん」、三つ目に蛸鑑賞イベントの盛り上げなど郡上東中校区で

できる「イベント」です。



蒲望来さん、中村明紗さん

〔市 長〕

魅力的な特産品は、ふるさと納税の返礼品として多くの方に届けられることができます。ふるさと納税は市の自主財源となるため、市では返礼品の品目を積極的に増やしています。新たな特産品の提案の今後に期待します。

〔商工観光部長〕

和良地域には和良鮎やはざこ、蛸などの観光資源が豊富で、誘客のポテンシャルが高い地域だと考えます。特産品の開発について、みなさんからさらに具体的に提案いただくことで協力させていただきたいと思えます。和良の資源を活用して観光客が増えることを期待します。

問 市長公室秘書広報課

67・1147